

令和5年5月2日



光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

<https://www.nerima-ky.ed.jp/hikarigaoka2-j/>



「めざす15歳の姿」

校長 山田 美鈴

新年度がスタートし、早1か月が過ぎました。コロナ期に比べ充実した教育活動を展開することができ、校内は活気に満ち溢れています。

年度初めの保護者会、また部活動保護者会へのご出席にご協力いただきありがとうございました。日々の教育活動に関しまして学校ホームページ、学年だより等で随時お知らせいたしますのでぜひご覧ください。またご意見・ご質問などありましたらお気軽にご連絡ください。

以下、4月25日の全体保護者会でお話しした内容を掲載させていただきます。

文部科学省から「誰一人取り残すことのない令和の日本型教育」、～多様な子どもたちの資質・能力を育成するための、個別最適な学びと、社会とつながる協働的な学びの実現～ という文言が打ち出されました。

かつての日本の社会を支えてきた学校教育は「言われたことを言われたとおりにできる」人間の育成でした。そのことにより正解となる知識の暗記の比重が大きくなり、求められていることをそのまま記憶することが大事とされてきました。

ChatGPTをご存知かと思います。AIによってユーザーが入力した質問に対して、まるで人間であるかのように対話形式で答えるというサービスです。例えば「走れメロスの読書感想文」と質問すると、たくさんのデータを集約した模範解答のような読書感想文が返ってくるというような仕組みです。今の中学生がこれから生きていくために、どのような力を身に付けていかなければならないのかを、学校も家庭も真剣に考えていかなければなりません。ChatGPTを使って要領よく書き写して仕上げってしまう人間に育てるのか？じっくり本を読み、自分なりの考えをまとめようと努力する人間を育てるのか？

「良い成績をとってレベルの高い高校・大学に進学すれば、将来安定した生活ができる」という考えは、これからの世の中、全く通用しません。

これからはAIが成し得ない(AIを超える)力を身に付けていかなければ、社会で活躍する存在にはなれないということです。では果たしてどのような力なのでしょう？例を挙げるとすれば「人との関わりの中で、困っている人がいたらそっと手をさしのべる。困ったことがあったら勇気をもって相談する。自ら課題を発見し、その解決に向けて積極的に行動する。自分の思い通りにいかないことがあっても粘り強くやり抜く等。

日々の生活の中で予測不可能な状況があっても、適切に判断し対応できる力ではないでしょうか。

話は変わりますが、私には2歳の孫がいます。孫を公園の滑り台で遊ばせていると、子どもの数と同じ数の大人が滑り台を囲んでいます。2歳の孫が滑り台の階段を登っていよいよ滑ろうとはするものの、足がすくんで止まっています。後ろには3、4歳の子が待っていました。そこへ親がすぐさま「ほら、後ろにお友達が待っているからどいてあげなさい!」と声をかけてしまのです。せっかく子供のコミュニケーション能力が養われる場面だというのに、それを大人が邪魔しています。後ろにいる子どもは「ちょっとどいて?」と声をかける。そして2歳の孫は、自分より大きいお兄さんがいとも簡単に滑り台を降りていく姿を見て、自分も頑張ろうとしたり、すごいなあと感心したりするものなのです。このように2歳の子供でさえ、自分の能力はある程度判断できています。ましてや中学生は、自分の性格や能力をかなり理解できています。自分は多少背伸びした方が頑張れるタイプなのか?それとも学力に余裕をもって進学した方が高校生活を充実させられるタイプなのか?

中学校の3年間で大切なことは、卒業後の進路を自分で選択できる力を身に付けることです。親や教員が判断してしまわずに、子どもの悩みに寄り添って、相談役になっていくことであると考えます。そのためにも以下2点お願いします。

① 子どもを一人の人間として尊重する(服従関係にしない)。

子どもの人権を尊重するということは、ある意味大人の言うとおりに行動しない場合でも受け止めるという受容の姿勢です。忍耐も必要です。

大人が子供にこうなってほしいと願う気持ちはあっても、そのとおりにはありません。親の思いどおりに良い子になろうとするひずみによって、学校嫌いになったり外に出ることが嫌になったりすることもあります。「ありのままのあなたでいい!」という大人の姿勢が子どもの自己肯定感を育みます。命を大切にすることや人を傷つけないということだけでも、十分子どもは親孝行をしているのではないのでしょうか。

② 保護者だけで抱え込まない。

学校を頼ってください。子供はたくさんの大人の愛情によって育まれていきます。

学級担任だけでなく部活動顧問、養護教諭、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員・・・私もいつでも相談に乗ります。子育てに正解を求めるのではなく、我が子は今何を求めているのか?を一緒に考えていきましょう。



将来的に自己の能力を存分に発揮できる生徒を育成するため、個別最適な学びを尊重し、自己肯定感を身に付けられるよう、学校教育のあらゆる場面で支援してまいります。

家庭と学校が一丸となって「めざす15歳の姿」を具現化してまいります。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和5年度第37回入学式

4月7日109名の新入生を迎えました！



～お祝いメッセージ～



光二中学生徒会オリエンテーション

4月11日 3、4校時



学校行事紹介、先生紹介、生徒会本部および専門委員会紹介、部活動紹介などを行い、光が丘第二中学校についてのあらゆる活動を1年生に知ってもらいました！

部活動仮入部

4月12日～21日

先輩たちは1年生が来るのを楽しみにしていました！



<休日・夜間に緊急連絡が必要となった場合>

学校は留守番電話対応となります。緊急に連絡が必要となった場合以下ご連絡ください。

緊急連絡先電話番号 **080(7797)8848**